

報告事項

平成20年度鳥取県立高等学校不登校生徒の状況について

平成20年度鳥取県立高等学校不登校生徒の状況について、別紙のとおり報告します。

平成21年7月28日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

平成20年度鳥取県立高等学校不登校生徒の状況について

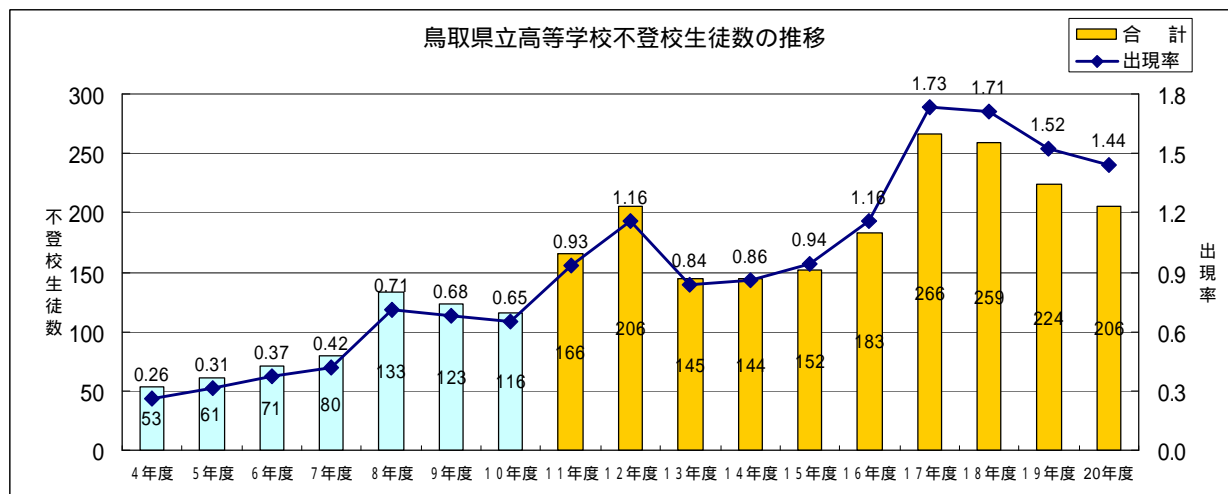
高等学校課

1 不登校生徒の状況

(1) 概況

ア 不登校生徒数の推移

平成17年度をピークに生徒数、出現率とも3年連続で減少。

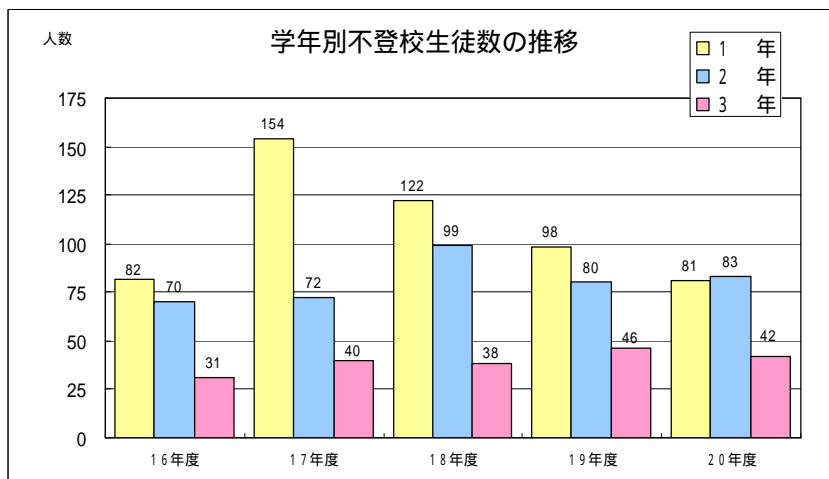


(注) 不登校を理由とする欠席日数の集計。

平成10年度までは年間50日以上、11年度以降は30日以上欠席を対象としている。

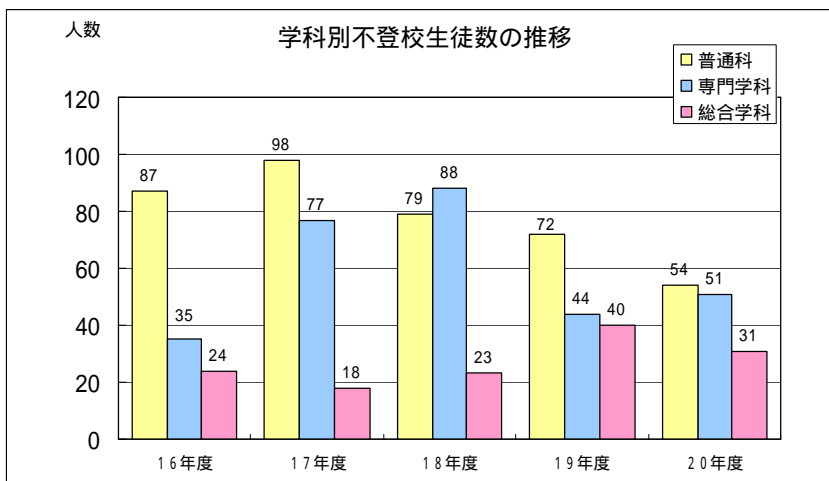
イ 学年別状況

- ・1年生の不登校生徒数は3年連続して減少。
- ・2・3年生の不登校生徒数は、微増の傾向。
- ・2年生の不登校生徒数が初めて1年生の不登校生徒数を上回る。

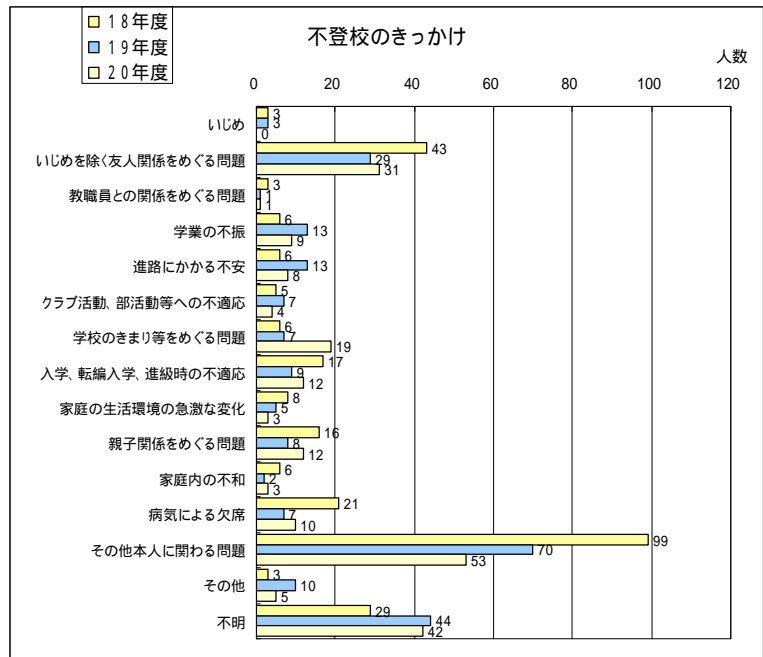


ウ 学科別状況

- ・普通科における不登校生徒数は3年連続して減少。
- ・専門学科における不登校生徒数は、昨年度より増加。
- ・学科による不登校生徒数の差が縮小。



- (2) 不登校のきっかけ
- ・本人に関わる問題に起因するものが、最も多い。
 - ・校則等学校のきまりをめくり不登校となる生徒が増加。
 - ・いじめに起因する不登校生徒はいなかった。
 - ・要因が複数あり特定できない、本人が面談を拒否する等によるきっかけ不明が昨年同様多数(全体の約2割)。



2 分析

- (1) 20年度に新たに不登校となった生徒は、全不登校生徒の6割を超える。特に、総合学科ではその割合が8割に及ぶ。入学あるいは進級で学習が新しいステージへ進んだことに対応できない、何らかの理由で悪化した友人関係を修復できない等の理由で不登校になることが考えられる。
- (2) 不登校になった生徒のうち、約2割は年度末の時点で授業に出席できるようになっている。担任、学年主任をはじめ、養護教諭、校内教育相談担当教員、スクールカウンセラー、外部専門機関等の連携が効果を上げていていると考えられる。
- (3) 1年生の不登校生徒数が減少した背景には、
- ・中学校における進路指導の充実により、不本意入学した生徒が減少した
 - ・高等学校入学後に集団づくり、人間関係づくり等が円滑に行われた
- などが考えられる。
- (4) 「その他本人に関わる問題」で不登校となる生徒が減少していることから、個人面接等をとおして生徒の状況把握に努めているとともに、生徒の状況についての情報共有が図られていると考えられる。

3 20年度の取組

- (1) スクールカウンセラー・教育相談員の配置
- ア スクールカウンセラーを全県立高校24校に配置。
- イ 臨床心理士の資格を有する教育相談員を東中西各教育局に配置し、各学校を訪問。
- (2) ひきこもり(傾向)の生徒への支援に関する研究調査事業(県教育センター)
- ア ハートフルユニット(通所指導)
- イ 中途退学予防としてのQ-U調査を協力校8校で実施(21年度も8校実施)

4 今後の不登校防止策

- (1) 生徒の状況を把握した上での、タイミングのよい面談やカウンセリング
- (2) 担任、教育相談担当教員、スクールカウンセラー、関係専門機関等の連携
- (3) Q-U調査等を用いた生徒の状況の客観的な分析
- (4) 個人情報保護に配慮した上での中学校との連携
- (5) ソーシャルスキル育成事業の実施と他校への普及に向けた成果の検証

鳥取県立高等学校の不登校生徒数の推移

高等学校課

		17年度		18年度		19年度		20年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
在籍生徒数		15,339		15,167		14,732		14,330	
学年別	1年	154	2.96	122	2.33	98	2.00	81	1.68
	2年	72	1.40	99	1.98	80	1.61	83	1.77
	3年	40	0.80	38	0.77	46	0.95	42	0.87
	4年	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合 計		266	1.73	259	1.71	224	1.52	206	1.44
男女別	男	121	1.59	109	1.42	89	1.19	100	1.38
	女	145	1.88	150	2.00	135	1.86	106	1.50
課程別	全日制	193	1.31	190	1.30	156	1.10	136	0.98
	定時制	73	13.04	69	12.52	68	12.30	70	13.54
全日制課程別	普通科	98	1.30	79	1.06	72	0.98	54	0.74
	専門学科	77	1.28	88	1.48	44	0.78	51	0.94
	総合学科	18	1.48	23	1.91	40	3.44	31	2.79
退学者数		85		73		77		71	
不登校生徒に対する割合(%)		32.0		28.2		34.4		34.5	
全国の不登校率(公立高等学校)		1.73		1.78		1.70			

率(%)はそれぞれの母集団における出現率を表す。

不登校のきっかけ		17年度		18年度		19年度		20年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
学校生活に起因	いじめ	42	15.8	3	1.1	3	1.3	0	0.0
	いじめを除く友人関係をめぐる問題			43	16.0	29	12.9	31	14.6
	教職員との関係をめぐる問題	2	0.8	3	1.1	1	0.4	1	0.5
	学業の不振	15	5.6	6	2.2	13	5.8	9	4.2
	進路にかかる不安	8	3.0	6	2.2	13	5.8	8	3.8
	クラブ活動、部活動等への不適應	1	0.4	5	1.9	7	3.1	4	1.9
	学校のきまり等をめぐる問題	12	4.5	6	2.2	7	3.1	19	9.0
	入学、転編入学、進級時の不適應	20	7.5	17	6.3	9	4.0	12	5.7
	小計	100	37.6	86	32.1	79	35.1	84	39.6
家庭生活に起因	家庭の生活環境の急激な変化	4	1.5	8	3.0	5	2.2	3	1.4
	親子関係をめぐる問題	11	4.1	16	6.0	8	3.6	12	5.7
	家庭内の不和	4	1.5	6	2.2	2	0.9	3	1.4
	小計	19	7.1	30	11.2	15	6.7	18	8.5
本人の問題に起因	病気による欠席	15	5.6	21	7.8	7	3.1	10	4.7
	その他本人に関わる問題	100	37.6	99	36.9	70	31.1	53	25.0
	小計	115	43.2	120	44.8	77	34.2	63	29.7
その他		15	5.6	3	1.1	10	4.4	5	2.4
不明		17	6.4	29	10.8	44	19.6	42	19.8
合計		266	100	268	100	225	100	212	100

(注1) 17年度までは、不登校生徒1人につき、主たるきっかけを1つ選択。18年度以降は、考えられるものをすべて選択。

(注2) %は不登校のきっかけにおける構成比率を表す。